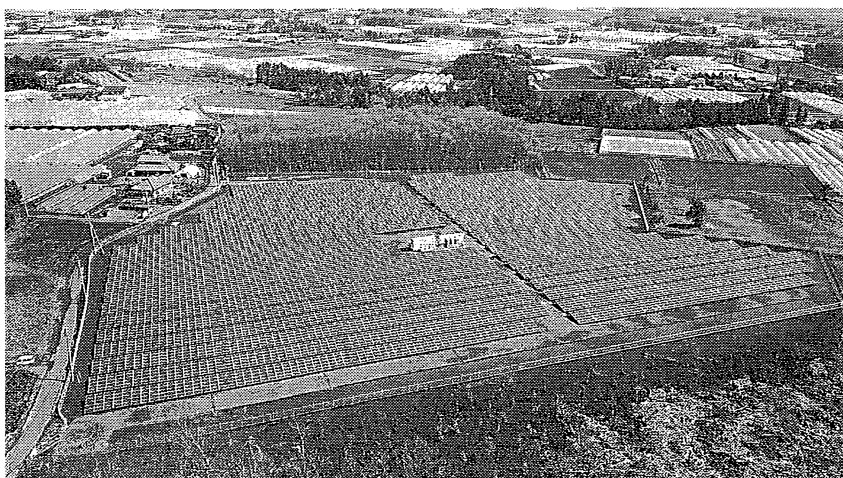


2015年(平成27年)6月23日(火曜日)(4)



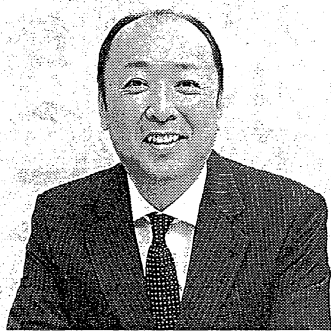
売電を開始した藤崎鹿田太陽光発電所

藤崎建設工業

# 藤崎鹿田が売電開始

## 太陽光発電所 5カ所目、計6.8 MWに

藤崎建設工業(株)(行方市新宮745)、藤崎政行代表取締役社長)の藤崎鹿田太陽光発電所が完成し、6月22日から売電を開始した。これまでに開発してきた4カ所の発電所と合わせた総太陽電池容量は約6.8 MWに上る。藤崎代表取締役社長は「早くに参入した分、付き合いができて事業を進めていくことができた」と振り返り、「現在、銚田市内で1カ所、許可を得ている」と今後の展望も披露



藤崎社長

した。

今回、売電を開始した藤崎鹿田太陽光発電所は、銚田市鹿田地区内に整備。敷地面積は3万1925㎡。昨年10月に着工し、本年3月完成の運びとなった。

太陽電池の容量は約2488.8 kW。想定年間発電量は約3336万 kWhを見込んでいる。これは一般住宅に例えると年間9600戸の電力を賄えるという。二酸化炭素は年間で約1522tを削減できる。

また、これまでに整備した4つの発電所が全て660V対応なのに対して、同発電所は初めて1000V対応とした。

藤崎建設工業(株)が初めて再生エネルギー特別措置法に基づき参入したのは、2013年2月に売電を開始したかみす太陽光発電所。太陽電池容量は約100.8 kW。以来、なめがた太陽光発電所(太陽電池容量約1034.88 kW)、行方谷島太陽光発電所(同1312.08 kW)、藤崎二重作太陽光発電所(同1848 kW)に取り組んできた。